

デジタルアーカイブの研究事例 —みんなで翻刻を中心に—

国立歴史民俗博物館
助教 橋本雄太

みんなで翻刻

【地震史料】

古文書・古記録を解読して、
歴史災害研究に参加しよう！

参加する

現在はPCでのアクセスのみ対応しています。

 いいね！  ツイート  G+  B! ブックマーク  LINEで送る



古地震研究会

URL: <https://honkoku.org/>

「みんなで翻刻 地震史料」

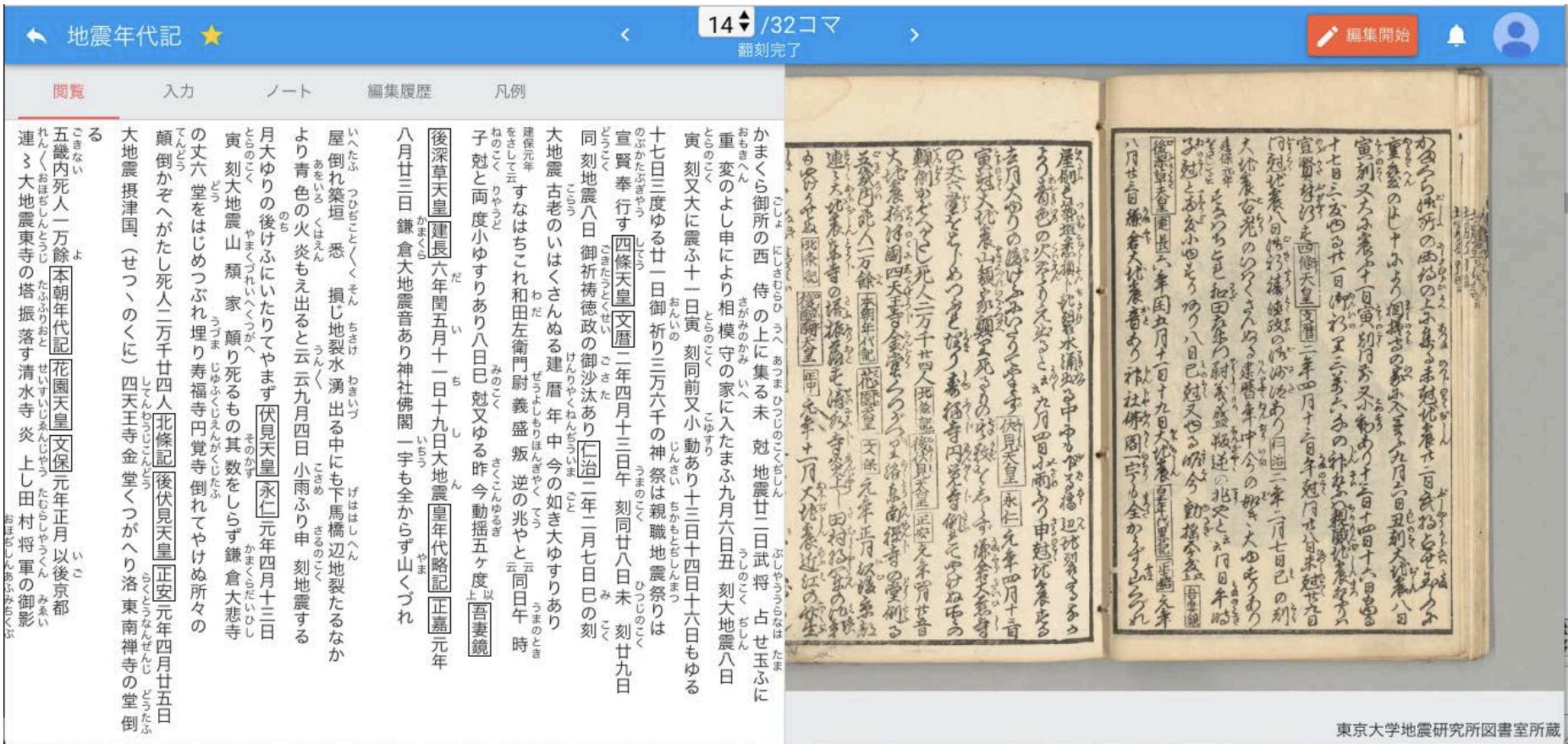
- **概要**

- 歴史災害史料の**市民参加型翻刻**プロジェクト
- 翻刻…歴史学用語で、史料を活字に起こすこと
- 東大地震研のデジタルアーカイブを対象に翻刻
- 2017年1月10日に Web サイトを正式公開

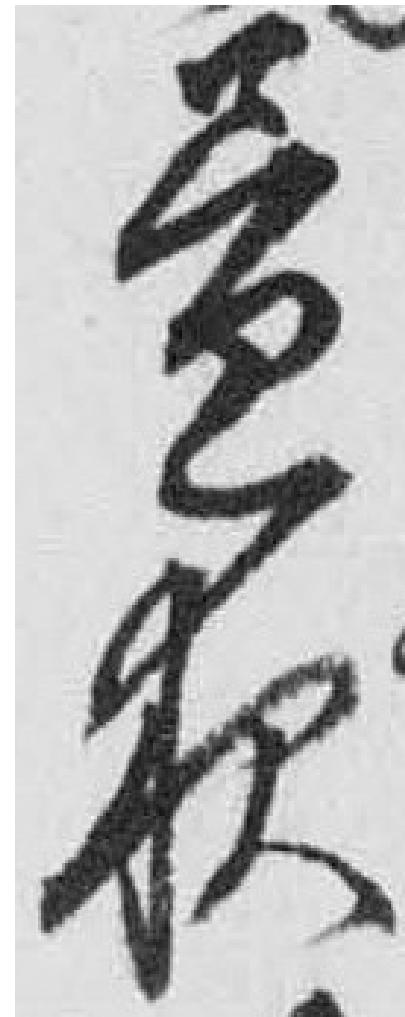
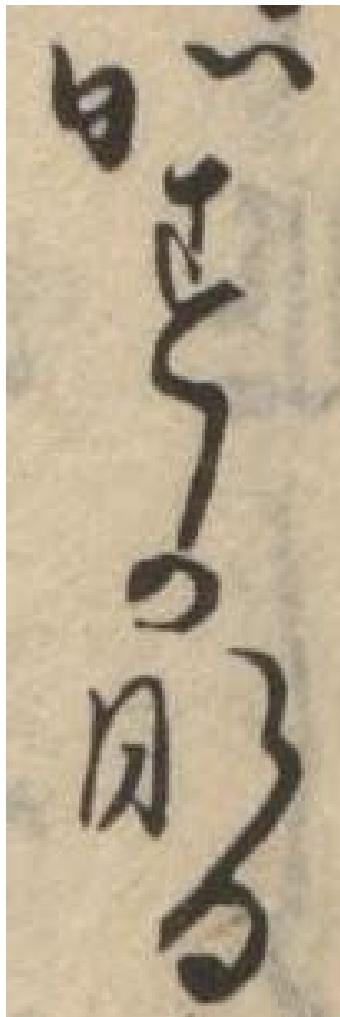
- **開発・運営…京都大学古地震研究会**

- 京大理学研究科を中心として、歴史地震史料の解読にあたっている学際グループ

史料の翻刻画面

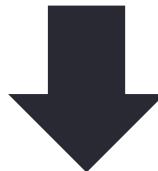


なんと読むでしょう



くずし字の解読は
とても難しい

(AIでもまだまだ難しい)



くずし字解読の
学習サービスを提供

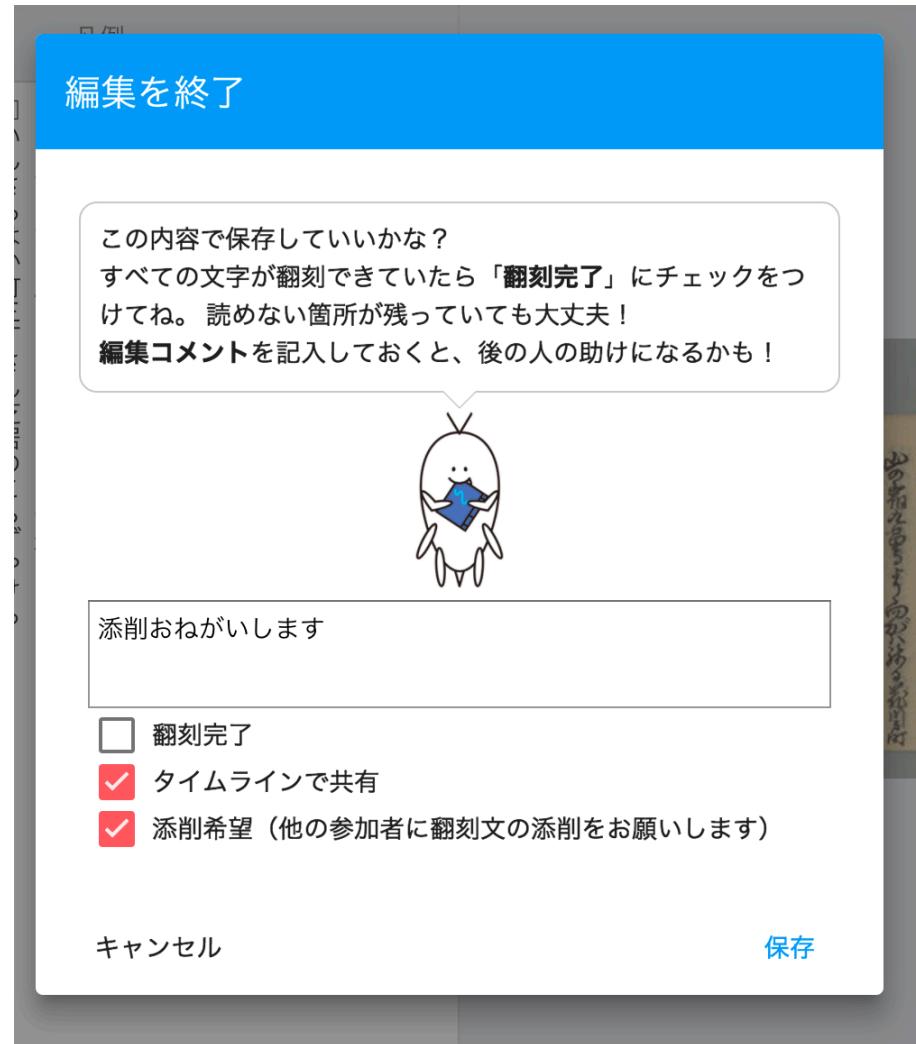
①くずし字学習アプリとの連携

- ・くずし字学習支援アプリKuLA
 - ・阪大文学研究科を中心に開発された「くずし字」の学習支援アプリケーション
 - ・3,000枚の用例画像と読み解教材を収録
 - ・2016年2月の公開後 11万回DL
- ・「みんなで翻刻」との連携
 - ・KuLA の全コンテンツをサイトに転載
 - ・くずし字解読の基礎を独習可能に



②参加者相互の添削システム

- 翻刻作業の完了時、
翻刻文の添削を他の参加者
に依頼することが可能
- 「添削希望」にチェックした
翻刻の90%が2週間以内に
添削を受けている



プロジェクトの進捗(2017年1月～)

- ・参加登録者数…4469名
- ・総入力文字数…525万文字
- ・翻刻が完了した画像…6953/7087枚(98%)
- ・翻刻が完了した史料…469/473点
 - ・残り4点で東大地震研の和古書全点が翻刻完了

ニコニコ生放送 『みんなで翻刻してみた』

ドワンゴとの共同企画. 2017年3月から月1回放映



「ニコニコ超会議」への出展



2017年

2018年

今後の展望：NDLを「みんなで翻刻」

- 「みんなで翻刻」次期バージョンはIIIIFに対応予定
- IIIIF (International Image Interoperability Framework)
 - デジタルアーカイブの画像データ共有の国際標準規格
 - 2018年にNDLデジコレの一部資料がIIIIFに対応
- NDLや国文研、京大など、IIIIF対応機関の公開資料を「みんなで翻刻」に取り込むことが可能になる

検索結果に戻る

[徒然草] 2巻. [1]

後の巻号



コマ番号 3 / 99



20%



▶ 解題/抄録 ▶ 目次・巻号 ▽ 書誌情報

[徒然草] 2巻の書誌情報 [\[表示\]](#)

書誌情報

[詳細レコード表示にする](#)

永続的識別子

[info:ndljp/pid/2544701](#)

タイトル

[徒然草] 2巻. [1]

著者

[吉田兼好] [著]

出版年月日

[慶長・元和年間]

請求記号

WA7-219

書誌ID (国立国会図書館オンラインへのリンク)

[000008506761](#)

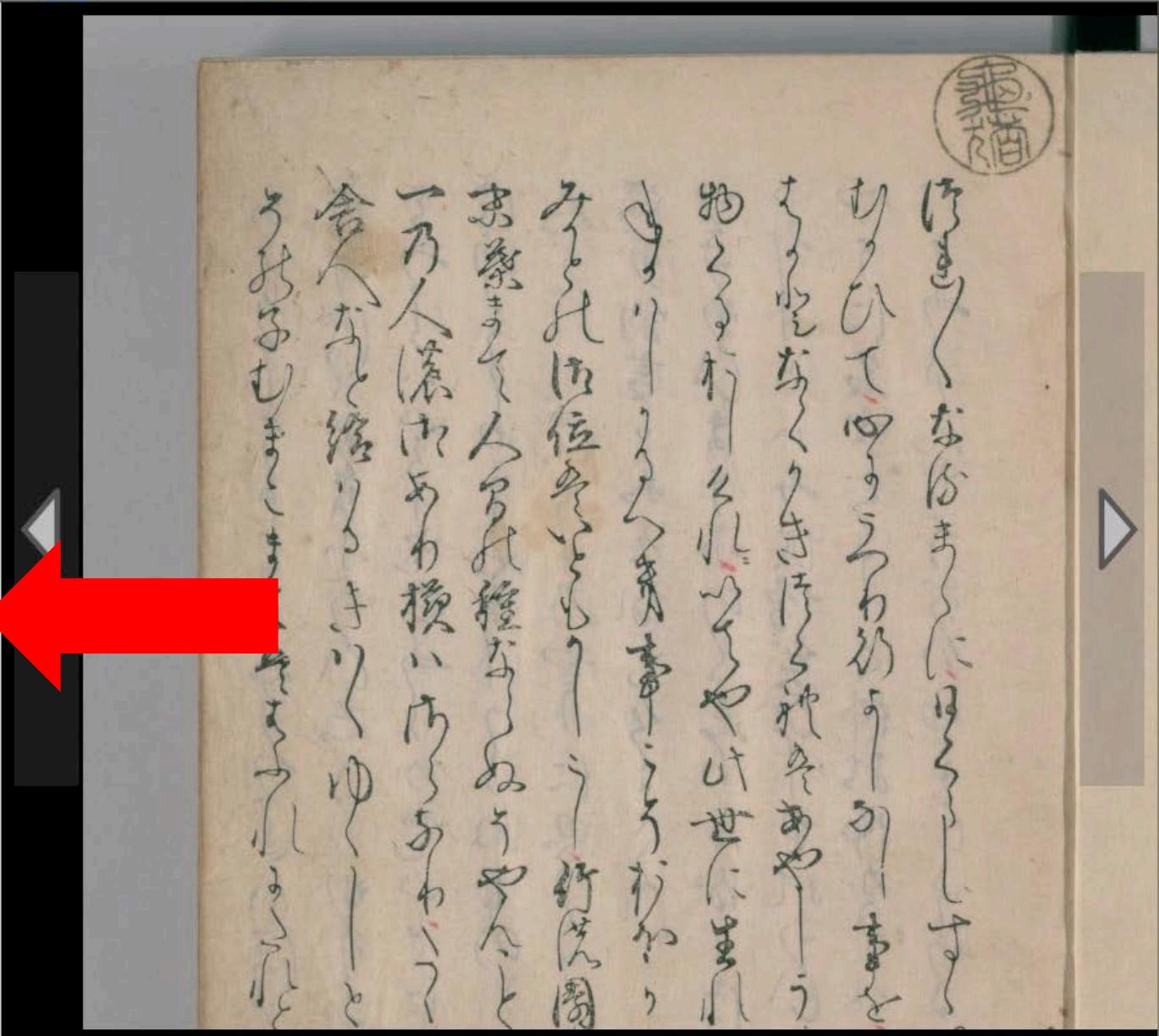
DOI

10.11501/2544701

公開範囲

インターネット公開 (保護期間満了)

IIIF マニフェストURI

<https://www.dl.ndl.go.jp/api/iiif/2544701/manifest.json>[詳細レコード表示にする](#)

おわりに

- ・インターネット上の市民参加は、膨大な作業の遂行を短期間で可能にする
- ・しかしプロジェクトの長期的運営には、**運営者と参加者の双方が利益を得るモデル**が必要
- ・「みんなで翻刻」の場合は「学び」がキーだった